

市内小学生が最高賞を受賞！

～地方創生☆政策アイデアコンテスト2017～

平成29年12月16日に東京都文京区の東京大学で開かれた「地方創生☆政策アイデアコンテスト2017」(高校生・中学生以下の部)最終審査会に、福島大学附属小学校5年の七島海希さんと高橋かな恵さんが参加。他の参加者が全て高校生の中、最高賞の地方創生担当大臣賞に輝きました。

12月25日には、市役所で市長や市職員を前に政策アイデアを堂々と発表した2人。そんな2人の政策アイデアを紹介します。



▲東京大学で堂々と発表する2人



福島大学附属小学校
5年 七島 海希さん

私たちが
考えました！

ふくしまにぎわい大作戦
地元商店街を盛り上げるために
私たち小学生ができること

みんなで
盛り上げ
ましょう！



福島大学附属小学校
5年 高橋かな恵さん

1. 課題

商店街の課題を分析！

RESAS^{リ-サス}※で分析
 ■福島市は平日より休日の方が人がいない
 ■休日は商店街より県外の大規模ショッピングモールなどに掛けている

アンケートで分析
 商店街は…
 ■駅や駐車場から遠い
 ■雨の日が大変
 ■子ども向けの店が少ない

2. 提案

分析して、ひらめいたこと

- 自動運転車などで駅から商店街まで回遊できるようにする
- オープンカフェをつくる
- 子どもが楽しめるイベントを行う

小学生ができること
 ■小学生がゴミ拾いをしてから、元々商店街で行っているバーベキューイベントなどで交流する

3. 効果

こんな未来が見たい

- 回遊範囲内の商店街がショッピングモールのようになる
- 若い人が来るようになる
- ファミリー層が来るようになる

■小学生が商店街の人と仲良くなり、商店街で買い物をするようになる

商店街が
にぎわう！



※RESAS：地域の産業や観光、自治体ごとの人口移動などのデータを見える化した地域経済分析システム。

膨らみます。
 今後も、市民の皆さんのアイデアを取り入れながら地方創生の取り組みを進めます。

将来は海外でも活躍できる職業に就きたいと話す2人の、さまざまな分野での活躍に期待が膨らみます。

2人へのインタビュー
 コンテストに参加したきっかけは？
 七島さん…平成27年の同コンテストで岳陽中学校が最高賞を受賞した企画の、中学生が市内を案内する観光ツアーに参加したことがきっかけです。地域のために、分析して提案する活動を自分もやってみたいと思いました。

大舞台での発表はどうでしたか？
 高橋さん…東京の大きな会場での発表者が高校生だったり、審査の目が気になったりで、すごく緊張しました。でも、練習の成果をしっかりと出せてよかったです。

印象に残っていることは？
 七島さん…分析しながら、2人でいろんなアイデアがどんどん出て、お互いに相談するのが楽しかったです。アイデアは家族に聞いてもらいヒントをもらったりもしました。2人のノートは、没案も含めてアイデアでいっぱいになりました。

これからどんな福島市になってほしい？
 高橋さん…いろんなアイデアで盛り上げて、若い人からお年寄りまで、にぎわいを感じられる商店街にしたいです。そして、元気な福島市を世界中にアピールしたいです。

